

2019 年度特別研修 脱硝装置管理・性能回復技術研修

東日本大震災以降、火力発電所、特に石炭火力発電所の稼働率は高止まりで、脱硝装置の性能低下にともなう空気予熱器（GAH）の閉塞トラブル回避は必須であり、日常の脱硝性能管理がより重要となっています。また、日本の触媒ビジネスは現在大きな転換期を迎え、競争市場への移行が急速に進み、より経済的な脱硝装置運用を実現するためには、ユーザ自身が最適な触媒を選定する「目」が必要です。本研修では、ユーザの立場としての17年間の脱硝管理事業実績を基に、「なるほど」とご納得いただける脱硝装置管理・性能回復技術を、実例を交えながら充実した内容にて知識を深めていただけます。



研修風景



触媒試験設備見学（第1回のみ）



研修内容

研修名	開催日	開催場所	特色
第1回	2019年6月7日（金）	中国電力(株)エネルギー総合研究所 （広島県東広島市）	触媒試験設備をご見学いただけます
第2回	2019年10月16日（水）	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス 本社会議室（広島市）	アクセス重視の 広島市内にて開催します

カリキュラム

時間	カリキュラム	内容
午前 (9:00~12:00)	脱硝装置の原理と構造	脱硝反応・脱硝装置の設計と構造・脱硝触媒の劣化機構
	脱硝装置の管理方法と寿命	オンラインデータ管理による性能評価・排ガス測定による性能試験・脱硝触媒の性能把握調査・脱硝装置の性能推移予測と寿命評価
午後 (13:00~17:00)	脱硝装置の性能回復	最適触媒の選定・効果的な性能回復方法・再生法の現状課題
	実際に出会った疑問	実例をご紹介します
	触媒試験設備および研究所見学	※第1回のみ
	触媒試験設備の説明	※第2回のみ

講師紹介



島田 裕（株）パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス

中国電力(株)入社後、脱硝触媒の再生に取り組み、多くの研究・開発に従事。現在はPETの代表取締役社長として、また脱硝事業の総括責任者として、脱硝装置性能管理や触媒性能評価、取替触媒選定の技術支援等を国内展開。「ユーザに寄り添えるコンサル」を目指し、成果と実績づくりに日夜奮闘。